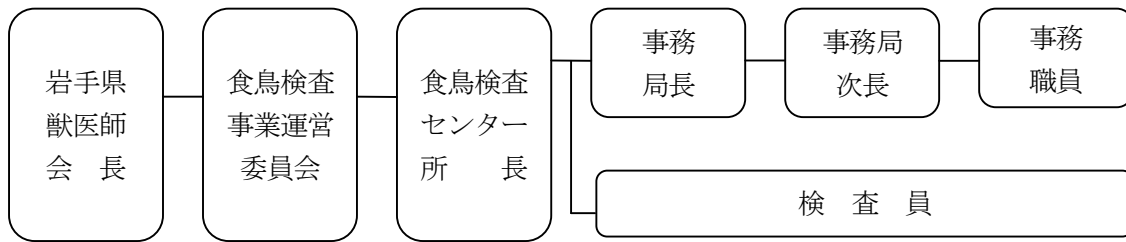


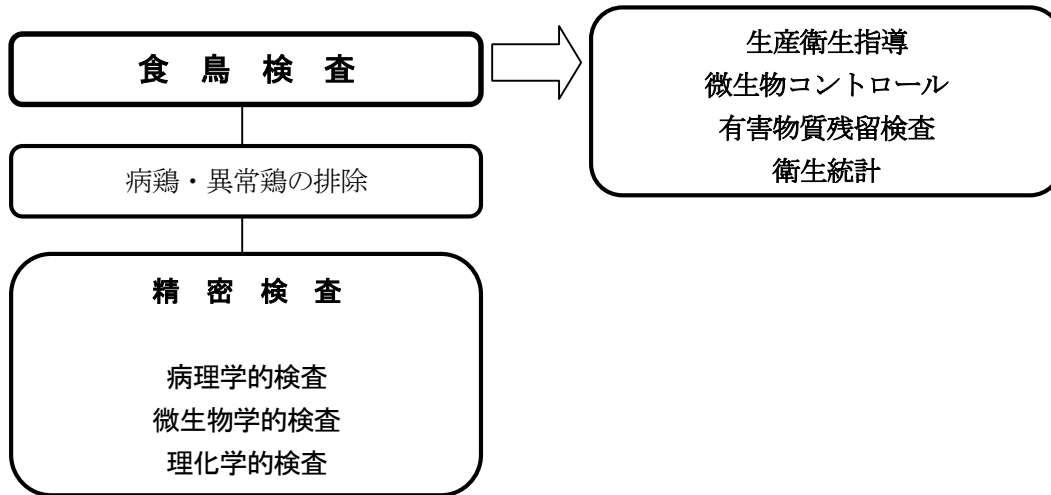
食鳥検査事業内容と組織

1. 食鳥検査センターの組織



2. 業務の内容

生体検査、脱羽後検査、内臓摘出後検査、モニタリング検査を行い、必要に応じて精密検査を実施している。



3. 職員および受任処理場

総勢49名の獣医師である検査員を県内13処理場にそれぞれ2~4名配置し、食鳥検査にあたっている。

4. 食鳥検査成績

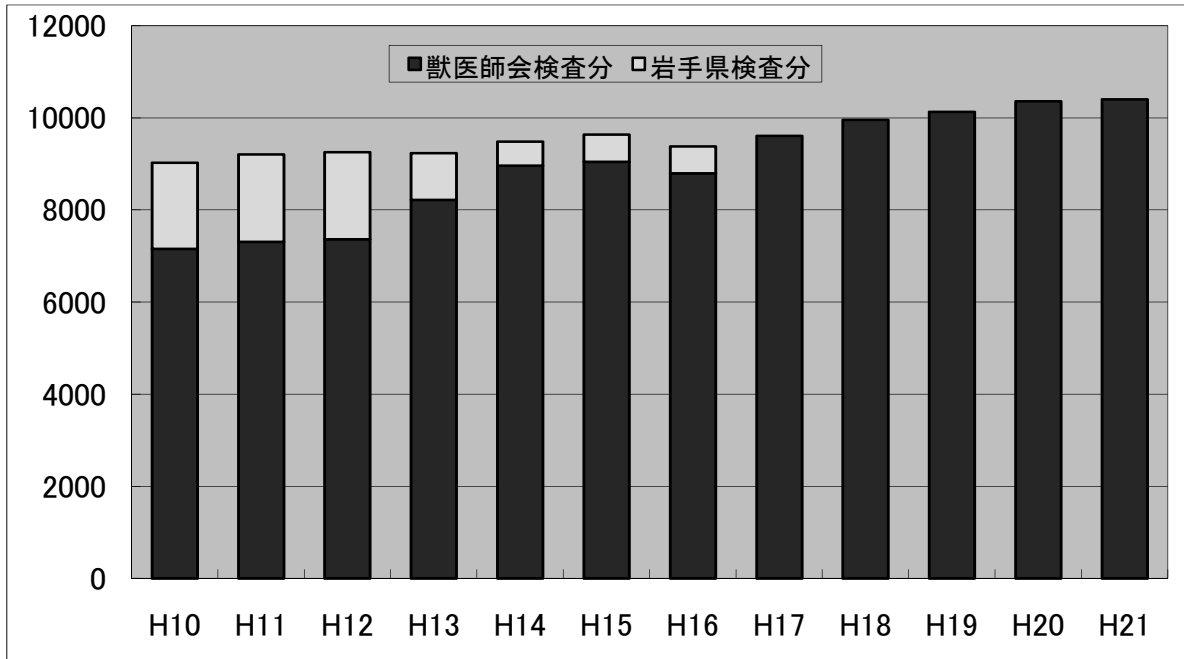
平成 21 年度

	ブロイラー		あひる	
	検 査 羽 数			
	103,572,014 (前年比 100.3%)		413,530 (前年比 99.9%)	
	禁 止 全部廃棄	一部廃棄	禁 止 全部廃棄	一部廃棄
マレック病	85,650			
大腸菌症	584,177			
ブドウ球菌症	7,854		4	
膿毒症			25	
敗血症	1		22	
真菌症			389	
原虫病(トキソ除)		19		6
変性	104,402	558,072	8	511
腹水症	191,704		1,247	
出血	23,658	99,127	5	42
炎症	57,862	2,838,515	47	2,682
萎縮		25,781		
腫瘍	301	10	7	1
臓器の異常な形等	230		14	
黄疸	1,107			
外傷	96	42,829		
削瘦及び発育不良	226,898		169	
放血不良	40,491		92	
湯漬過度	9,709		11	
その他	1,940			
計	1,336,080	3,564,353	2,040	3,242
廃棄率(%)	1.29	3.44	0.49	0.78

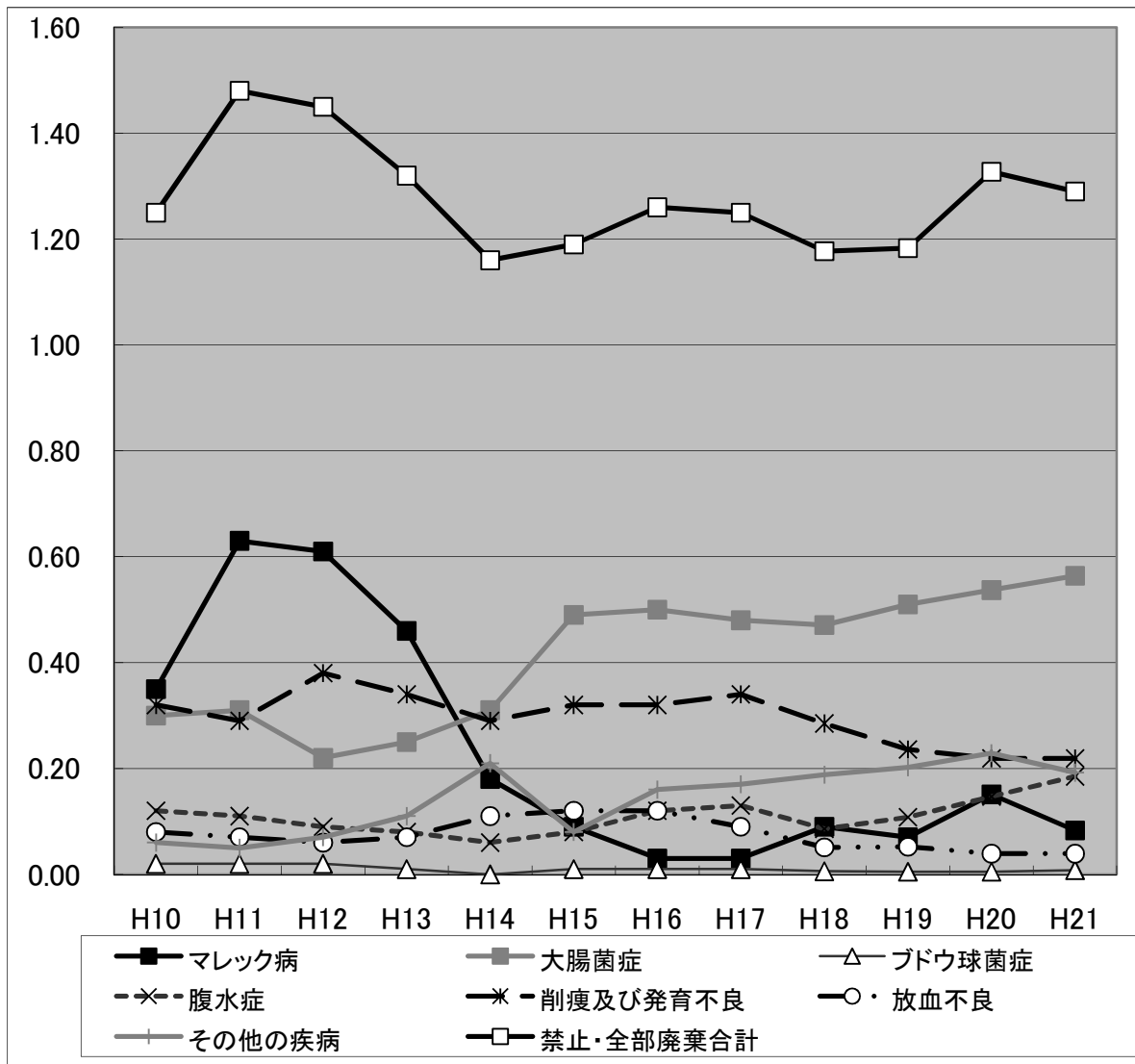
大腸菌症のうち 皮下織炎(内数)	181,487			
---------------------	---------	--	--	--

廃棄処分のあった疾病のみ計上

食鳥検査羽数の推移 (H11~20年度、ブロイラー・成鶏・あひる、万羽)



禁止・全部廃棄率の推移 (H11~20年度、獣医師会検査分、ブロイラー、%)



精密検査実施状況

平成 21 年度

	細菌		病理		検査数の計	摘要
	実検体数	培養検査数	実検体数	組織検査数		
合計	1,971	3,068	75	140	3,208	